

2019年5月17日

株式会社 山陰合同銀行

「サステナビリティ宣言」の表明

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）と当行グループは、下記のとおり「サステナビリティ宣言」を表明いたします。

【サステナビリティ宣言】

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。

1. 「サステナビリティ宣言」表明の理由

近年、世界的にSDGs^{※1}やESG^{※2}経営に関心が高まるなか、地方銀行に対しても、これらに積極的に取り組み、地域に広める役割を担うことが各方面から要請されています。

当行では地域の持続可能性を目指し、従来リレーションシップバンキング、地方創生、CSR活動などに広範に取り組んできました。SDGs、ESGの考え方は当行のビジネスモデルと理念を同じくするものであることから、SDGsの趣旨に賛同し「サステナビリティ宣言」としてあらためて表明することで、役職員の一層の意識を高めるとともに、地域社会・お客様に対してこれらの理念を広め、地域と当行が持続的に成長できる社会の実現を目指していきます。

（※1）Sustainable Development Goals の略。2015年9月の総会決議で国連加盟国が採択した、2030年までに達成を目指す17の持続可能な開発目標と、これを達成するための169のターゲットのこと。

（※2）環境 Environment、社会 Social、ガバナンス Governance の頭文字をとったもの。

ESG経営とは、企業の中長期的な成長のためには、環境・社会に配慮し、ガバナンスを高度化していく経営を実践することが必要であるという考え方。

以上

1. 重点的に取り組む事項

(1) 地域経済の持続的な成長 地域産業の成長支援やお客様の課題・ニーズ解決に取り組み、地域・お客様の付加価値を向上することで、地域経済の持続的な成長に貢献します。
(2) 豊かな地域社会の実現 地域・社会貢献活動に積極的に参画し、豊かで活力ある地域社会を実現します。
(3) 持続可能な地域環境の実現 環境に配慮した企業活動の実践と地域の環境意識を高めることで、気候変動に対応し、持続可能な地域環境を実現します。
(4) 従業員の満足度向上 能力を最大限に発揮できる環境を整備し、仕事に対する誇りと満足度の向上を目指します。
(5) 健全で透明性の高い経営体制の確立 経営等の情報を積極的かつ公正に開示し、ステークホルダーと適切に協働することで、コーポレートガバナンスの強化とその充実に取り組みます。

2. 具体的な取組事例

		対応するSDGs	具体的な当行の取り組み
社会 (Social)	地域経済の持続的な成長	   	地域産業成長へのコミットメント(地域主要産業・企業群の活性化、新産業創造 等) お取引先企業の付加価値向上(徹底的な事業支援活動 等) お客様のゆとりある生活の実現(お客様本位のトータルコンサルティングサービスの提供、デジタル技術を活用した利便性の向上 等)
	豊かな地域社会の実現	  	障がい者の自立支援・社会参画支援(ごうぎんチャレンジド 等) 青少年の育成活動(私塾「尚風館」、金融教育 等) 地域貢献活動(スポーツ振興、寄付活動 等)
環境 (Environment)	持続可能な地域環境の実現	   	環境に配慮した企業活動(行内の省エネ・省資源・リサイクル活動 等) 地域環境や自然を守り育む活動(森林保全活動 等) 環境関連ビジネス(J-クレジット活用支援、再生可能エネルギー事業への参入支援、環境配慮型商品の提供 等)
企業統治 (Governance)	従業員の満足度向上	  	組織の活性化(人材育成、ダイバーシティ推進、ワーク・ライフ・バランス推進 等)
	健全で透明性の高い経営体制の確立		企業統治(コーポレートガバナンス改革の推進、情報開示の充実 等) リスク管理(確固としたリスク管理体制の確立 等)

以上